

## 知事コメント

令和4年11月10日(木)

本日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、県内の感染状況及び対策について確認しましたので、県民の皆さまへお知らせするとともに、対策をお願いいたします。

沖縄県では、人口10万人あたりの新規陽性者数は11月9日時点で130.21人、全国平均 351.45人となっており、全国平均を下回っていますが、先週から、直近1週間の前週比が1を超える日が続くなど、緩やかですが、新規陽性者数の増加傾向が明らかになっています。

病床使用率は11月10日時点で12.8%と低い水準で推移していますが、このまま、新規陽性者数が増加した場合、入院者数が増えて医療ひっ迫につながるおそれがあり、引き続き、感染状況を注視する必要があります。

全国の状況を見ると、感染拡大の傾向が顕著となっており、前週比も1を超える状況が続いています。要因として、イベントや旅行等の社会経済活動の活発化により、人と人が接触する機会が増えたこと、また、寒くなることで換気が不十分になったことの影響が指摘されております。

県民の皆さまにおいては、日頃から3密を回避し、換気・マスクの正しい着用・手指消毒・毎日の健康観察を習慣化してください。会食や友人との交流では、できるだけ大人数・長時間の集まりを控え、屋内や会話をする場面ではマスクを着用しましょう。

また、発熱、のどの痛み、咳、鼻水等の症状がある場合、外出を控えるようお願いします。風邪症状を認める時には、1週間程度は、重症化リスクの高い高齢者、妊婦等には会わないようにしましょう。

もし発熱や咳などの症状があり受診を希望する場合、直ぐに救急医療を受診するのではなく、日中、かかりつけの医療機関に相談するか、または県コールセンター(098-866-2129)へご相談ください。

夜間や休日に子どもの急な病気対処に迷う場合、看護師や医師による電話相談が可能な#8000番をご利用ください。

オミクロン株対応ワクチンの接種間隔が、これまでの5ヶ月から3ヶ月を超えていれば接種可能となっています。このワクチンは、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果が期待されており、現在、県及び市町村では、オミクロン株対応ワクチンにて、3～5回目の追加接種を推進しています。

特に12月末まで、企業・団体に対して出向き接種を行っておりますので、積極的なご検討をお願いします。詳細は、県ワクチン・検査推進課(098-894-5127)までご相談下さい。

また、副反応が少ないと言われている、ノババックスワクチンも3～5回目の追加接種が実施可能となりました。県では、11月11日(金)から、ノババックスによる接種を開始いたします。接種を希望される方は県広域ワクチン接種コールセンター(098-943-2993)へお問い合わせください。

今年の冬は、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行が予想され、多くの発熱患者が発生し、速やかに受診できない可能性があります。

発熱等の体調不良時に備え、予め薬局等で新型コロナの検査キットや解熱鎮痛剤等の常備薬を準備し、オミクロン株対応ワクチンやインフルエンザワクチンの接種を年内に完了させましょう。

県民の皆さまには、これまで身につけた感染対策を徹底し、コロナにうつらない、うつさない意識をこころがけ、インフルエンザとの同時流行に備えてワクチン接種を完了させる等、今ひとりひとりができる対策に取り組み、感染拡大を防ぎましょう。